

1 年 1 組 道德科学習指導案

1 主題、教材名

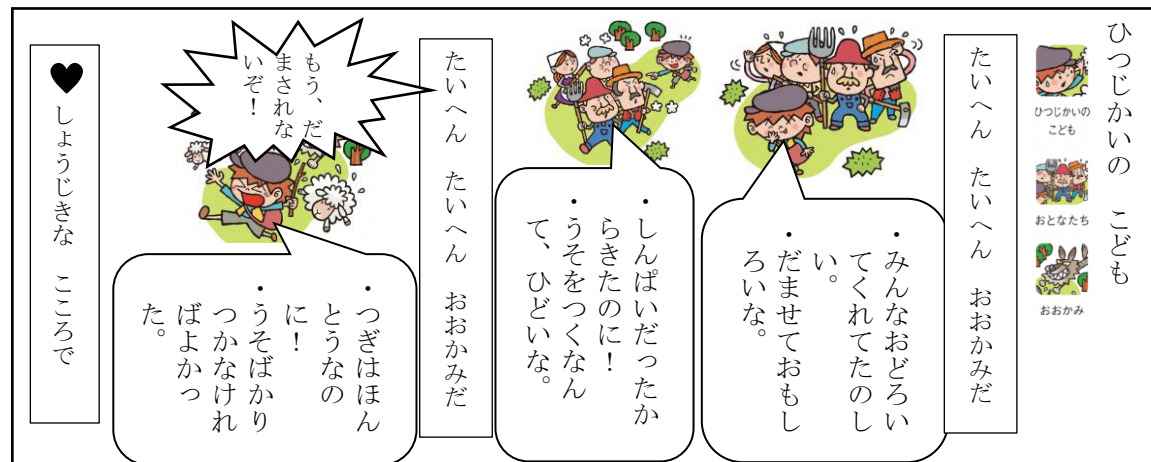
A 正直・誠実

「ひつじかいの こども」

2 本時のねらい

うそばかりついている人の言うことは、信じようと思わなくなると認識することで、うそをつかないで正直にしようとする心情を育てる。

3 本時の板書計画



4 授業展開と子どもの学び・教師の手立て

	子どもの学び	教師の手立て * 全体への指導 ・ 個別の指導
導入	・あります。うちのひととの約束の時間があるけど、ゲームをもっとやりたくて…、 ・妹のおもちゃを間違えて壊しちゃったとき、ごまかしたくなった ※うそをつくってどんな気持ちになるか考える（価値への方向付け）。	うそをつきたいなと 思ったことはありますか。 ※うそをつきたくなる場面を限定し、経験を想起できるようにする。
展開	①「一人で番をしているのはつまらないけど、みんなが驚いてくれて楽しいな」 「騙されていておもしろいなあ」 ②「子どものことが心配で来たのに…」「ひどいな」「なぜ、うそをつくんだ。許さないぞ」 ③大人役「もうだまされないぞ」「どうせまたうそだら」 子ども役「次は、本当なのに！」「どうして信じてくれないの」 「うそばかりつかなければよかった。」「いままでだまして ごめんなさい」	① ひつじかいの子が大人たちをだませたとき、どんなきもちだったのだろう。 ② うそだと知って、大人たちはどんな気持ちになったのだろう。 ③ 本当におおかみが来ても、大人が助けてくれなかった時、子どもはどんな気持ちだったのだろう。
終末	・うそをつくって、だんだん信じてもらえなくなる。 ・本当に困ったときに、助けてもらえなくなる。 ・ひつじかいさん、うそをつくのはやっぱりよくないことだよ。うそをつくって、だんだん信じてもらえなくなって、寂しい思いをするんだよ。本当に困ったとき、助けてもらえなくなるんだよ。だから、正直な心でいようね。 『しょうじきな ところで』	※ペアで役割演技を行う。（子ども役・大人役に分かれて） なぜ、うそをつくのはだめなの。 うそをついてしまった、羊飼いさんに伝えたいことはなんですか。 評価規準 正直な心の大切さについて気づくことができている。 【発言内容】